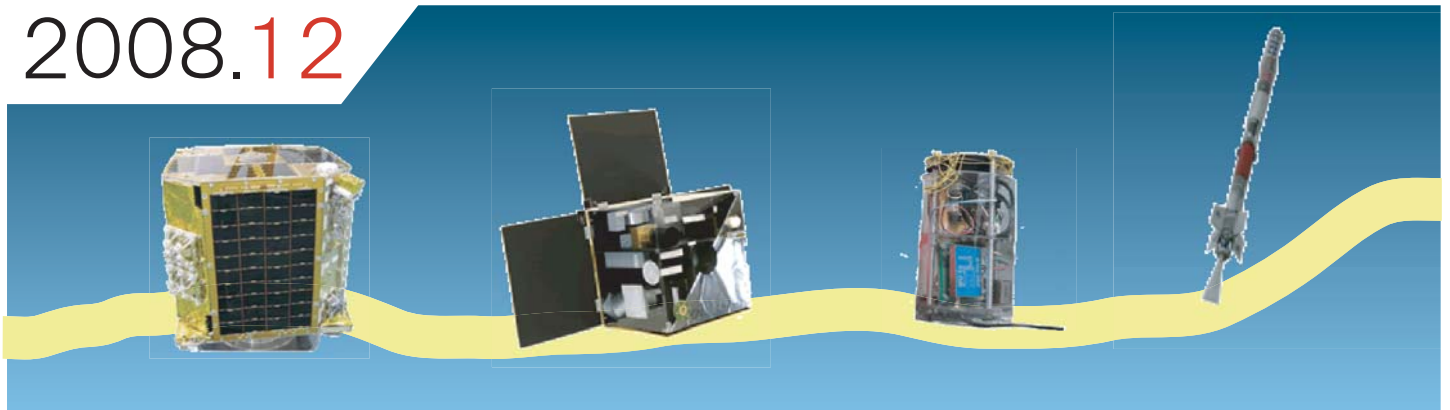


# 小型宇宙機システム研究センター一便り

## 2008.12



### What's New

#### ■ 衛星運用管制室を整備

平成21年1月21日に打ち上げが予定されている小型衛星「SOHLA-1(まいど1号)」の運用管制室を開設しました。運用は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の支援の下に、大阪府立大学の学生が行う予定です。

#### ■ 衛星設計コンテストで学会賞を受賞

第16回衛星設計コンテスト(11月2日)に出場し、“地球電磁気・地球惑星圏学会賞”を受賞しました。本センターは、放射線の増減現象のメカニズムを解明し、宇宙天気予報等に役立てることを目指した衛星を設計しました。

小型宇宙機システム研究センターのHPが開設

[www.ssrc@aero.osakafu-u.ac.jp](http://www.ssrc@aero.osakafu-u.ac.jp)

### CONTENTS

1. 衛星運用室を整備
2. まいど1号、打上げへ
3. 衛星設計コンテストで入賞
4. カンサットの大会で優勝
5. センターについて

## 小型衛星「まいど1号」の運用を府大の学生の手で！！ 打ち上げに先立ち ～ 衛星運用管制室を整備 ～

### 衛星運用室を整備

平成21年1月21日に予定されている小型衛星「SOHLA-1(まいど1号)」の打上げ後の運用を、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の支援の下に、小型宇宙機システム研究センターの学生たちが行う予定です。打ち上げを前に、このほどSバンド運用のための衛星運用管制室が完成しました。衛星運用は労苦の多い大変な作業ですが、学生たちは得がたい機会を活かしたいと期待しています。



衛星の打上げ後に、姿勢制御などの管制、ミッション実験の実施とデータ送受信などの運用を、JAXAの宇宙通信所、筑波宇宙センターなどの地上設備の支援を受けて実施します。衛星は、約90分の周期で地球を周回しており、1日2回、正午～午後と深夜～真夜中に日本上空を通過中に、約20名の学生が衛星データや制御指令の送受信など、交代で運用管制にあたります。



### アマチュア無線 地上局を開局

SOHLA-1はアマチュア無線送受信機を搭載し、府大が開発した宇宙用太陽センサのデータを地上に送信します。大阪府立大学では、太陽センサの軌道上実証試験を実施するため、衛星を追尾するアンテナの設置などアマチュア無線地上局の開局準備を進めており、株式会社アイコムからは無線機器の提供などの支援を受けています。東大阪のSOHLAアマチュア無線クラブとも連携してアマチュア無線家や市民向けのサービスにも取り組む予定です

